

県選出国会議員・全国商工会連合会への要望活動報告

11月15日、商工会全国大会後の秋田県商工会交流パーティーにおいて、県選出国会議員7名に対し、小規模事業者の販路拡大へのステップアップ支援をはじめとする重点事項3項目について要望活動を行いました。

◆ 重点要望項目

小規模事業者の販路拡大・ICTのステップアップ支援

- ①小規模事業者持続化補助金の制度拡充(200万円規模の制度新設)
- ②ICT活用 of 取組(持続化補助金ICT枠(限度額100万円)の新設)

経営基盤強化のための事業承継・創業税制改正

- ①事業承継税制の抜本的拡充(相続・贈与時の税負担の軽減)
- ②創業後5年間の法人税・所得税、社会保険料の減免措置

小規模事業者に配慮した働き方改革の促進

- ①処遇改善に対する判断基準の明確化と導入への配慮
- ②罰則付き時間外労働の上限規制導入の見直し
- ③社会保険料等の事業主負担軽減



◆要望先:金田勝年議員、御法川信英議員、富樫博之議員、寺田学議員、緑川貴士議員、石井浩郎議員、中泉松司議員

また、併せて全国商工会連合会に対して、「商工会創生プラン」の着実な推進に向け、全国連との協働によりプラン実現の効果を上げるものについて、要望しました。今後、商工会が持つビッグデータの活用によるシンクタンク機能の強化をはじめ、商工会の課題解決力をさらに高められるよう連携を強めてまいります。

◆ 要望項目

- 1 全国連のシンクタンク機能強化など三層間連携のさらなる強化
- 2 人材育成や高度な経営課題への対応などスケールメリットを追求した商工会運営支援の強化

◆要望先:全国商工会連合会(園田事務局長、青山組織運営部長、榎本企業支援部長)



石井浩郎議員へ
要望書を提出する
村岡会長



協働を提案した
全国連への
要望活動

平成29年度

むらおこし特産品コンテスト 秋田県から“3年連続” 中小企業庁長官賞受賞

平成29年度むらおこし特産品コンテストにおいて、かみこあに観光物産(株)の「コンフィチュール・ほおずき」が中小企業庁長官賞を受賞しました。

本商品は、上小阿仁村で産地ブランドとして推奨している食用ほおずき(恋どろぼう)に付加価値を付け、特産として広く普及させるために平成23年に商品開発を行い、誕生した商品です。

糖度13~16度の地元産食用ほおずきをふんだんに使用し、季節を問わず食感を味わってもらおうと、実の形をそのまま残すことにこだわって仕上げています。

今後もお客様に喜んでいただける商品を多くの方へ提供することを念頭に置き、新たな商品開発やネット通販サイトを活用した販売促進を展開していく予定です。



中小企業庁長官賞受賞
コンフィチュール・ほおずき
かみこあに観光物産(株)
(上小阿仁村商工会)

広告

**万が一の時に備え、
従業員やご家族を
守ります**

貯蓄 融資
商工貯蓄共済
保障
3つの利点

月々
2,000円
から

**全国商工会
会員福祉共済**
秋田県版

月々
1,000円
から



※この紙は再生紙を使用しています。 発行所／秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号秋田県商工会館内 電話／018-863-8491(代) 購読料／1部10円(会費を含む) 毎月1日発行 発行日／平成30年1月1日

(昭和45年12月3日第3種郵便物認可)

企業経営にプラス^{plus}するワンポイント情報誌

あきた Biz^{plus}

秋田県商工会連合会報
Akita Prefectural Federation of
Societies of Commerce and Industry

2018
January
Vol.528

**謹賀新年
商工会は新たなチャレンジを応援**



「次なる50年に向けてチャレンジ!」県青連・県女性連創立50周年記念祝賀会

新たな取組である「商工会創生プラン」が昨年の4月から始まり、10年先の商工会のあるべき姿を見据え、全県21商工会と県連合会が一丸となって取り組んでおります。

本年も、商工会創生プランに掲げる「厳しい経営環境にあっても確かなビジョンと実行力で、事業者とともに挑み続ける商工会」を目指し、事業者の皆様の更なる飛躍に向けて取り組んでまいります。

新しい年が希望に満ちた年になるよう、商工会は、事業者の皆様の挑戦を全力で応援し続けます。

年頭所感

秋田県商工会連合会 会長 村岡 淑郎



平成30年の年頭に当たり謹んで新年のお祝いを申し上げます。

さて、商工会は、昭和35年の設立以来、地域経済団体として、また、国・県の小規模事業対策実施機関として、これまで57年にわたって活動をしてまいりました。その間、時代は大きく変化し、商工会に期待される役割も県内外の社会情勢に応じて変わってきております。

そして、今、時代にあった商工会活動はどうあるべきか、従来の延長線上の運営で商工会の持続的発展が可能なのか、といった課題を県内商工会長はじめ会員の方々から問われております。

また、人口減少や少子高齢化が急速に進む中、商工会には、地域経済を支え地域活性化の基盤となる会員事業者が将来にわたって事業を継続・発展させていくための更なる支援の強化をはじめ、地方創生への取組を進めることが求められております。

こうした課題や商工会に課せられた役割・期待をしっかりと受け止め、県連合会と21商工会は、10年先の商工会のあるべき姿を見据え、その実現のための具体策を取りまとめた「商工会創生プラン」を昨年3月に策定し、同4月から実施しております。

このプランは平成29年度から33年度までの5年間を推進期間としており、主な狙いや特徴として、一つ目は、商工会創設の原点に戻って「個別企業を徹底的にサポート」することで企業の活性化を促し、ひいては地域経済の活性化に結びついていく好循環を生み出すこと。二つ目は、県連合会と21商工会がビジョンを共有し、役割を明確にしながら、一斉にスタートさせることで相乗効果をもたらすこと。三つ目は、5年間の活動目標を数値化するとともに、実行プロセスをわかりやすくする工程表を備えることで、進行管理を徹底していくことです。

今後は、「商工会創生プラン」の目的や思いを常に念頭に置き、掲げられた取組内容について会員の皆様とスクラムを組みながら商工会の総力を挙げて着実に実行し、新たな可能性を切り開くチャレンジを重ねてまいりたいと考えております。

どうか、全県の商工会員の皆様には、この活動の趣旨を御理解いただき、一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、商工会員の皆さま並びに関係各位にとって、新しい年が更なる飛躍の年となりますよう御祈念し、年頭の御挨拶といたします。

新年のごあいさつ

秋田県商工会青年部連合会 会長 田中 洋平



新年明けましておめでとうございます。

日頃より、皆様には商工会青年部活動につきまして、御理解、御協力をいただき誠にありがとうございます。

県商工会青年部連合会では、スローガン「～感謝～“全てのIMPULSEネットワークへ想いを紡ぎ 未来の秋田の可能性を切り拓け”」のもとに、県内21商工会の御協力をいただき、諸事業に取り組んでおります。

特に昨年は、県商工会青年部・女性部連合会創立50周年記念式典や記念座談会等の各種記念事業を盛会裏に執り行うことが出来ました。

これも村岡会長をはじめとする商工会員・役職員の皆様、関係団体の皆様、そして50年の歴史を支えてくださった諸先輩の皆様の御尽力の賜と改めて感謝申し上げます次第です。

また、現在「商工会創生プラン」を受けて、「商工会青年部・女性部中期活動ビジョン」の策定に向けて鋭意取り組んでおります。

我々は今後の活動の方向性と将来像を定め、その実現のために、必要な活動方針と具体的な事業活動を引き続き検討してまいりる所存です。

県青連創立50周年を契機に、我々はこれまで以上に若手経営者、後継者として個人個人が商工業者の代表としての自覚を持ち、相互に経営力を向上させ、連携した取組を行うことによって地域経済において大きな波及効果を実現していきたいと考えております。

関係各位の皆様には、これまで以上の御指導御鞭撻を賜りたく、改めましてよろしくお願い申し上げます。

皆様からの温かい御支援に改めて感謝の気持ちを胸に刻み、本年もかけがいのない人たちと、かけがいのない地域のために、新たな一歩となる51年目を21商工会青年部員と共に力強く歩んでまいります。

結びといたしまして、新しい年が皆様にとって健康で明るい一年でありますよう御祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

年頭のごあいさつ

秋田県知事 佐竹 敬久



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、本県経済は、製造業で電子部品・デバイスや自動車等が好調だったほか、個人消費も堅調に推移し、雇用は記録的な高水準となる等、全体として回復に向けた動きが見られました。

また、商工会連合会におかれましては、県内21商工会と「商工会創生プラン」を策定されるとともに、商工会青年部連合会・女性部連合会が創立50周年の節目を迎え、更なる事業の発展と地域活性化への取組強化を図られたところであります。

さて、本格的な人口減少社会が到来し、経済のグローバル化が進展する中、AIやIoTなどを活用した第4次産業革命も進行しつつあり、産業や就業構造は大きな変革期を迎えております。このことは、中小企業・小規模企業者も直面する課題であり、本年は環境変化への対応力が問われる重要な年になると考えております。

県では、「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」の策定を進めているところでありますが、最大の課題である人口減少の克服に向け、「働き方改革」等により女性や若者の活躍促進に取り組むとともに、県内産業の「稼ぐ力」の向上や産業人材の確保・育成など、秋田の新時代を見据えた未来投資型の施策を大胆に推進していくこととしております。

あわせて、「中小企業振興条例」の新たな指針においては、小規模企業者の振興を最重要施策の一つと改めて位置づけ、事業承継など諸課題の解決とともに、ICTイノベーションの活用など、企業の意欲的な取組を、なお一層後押ししてまいります。

県連合会及び21商工会の皆様におかれましては、県経済活性化の牽引役として、そして、地域企業の頼れるパートナーとしてますます御尽力くださるようお願い申し上げますとともに、会員企業の皆様には、地元商工会をはじめ、県・市町村等の施策も十分に活用し、ぜひ更なる事業発展にチャレンジいただきたく御期待申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって、希望に満ちあふれた飛躍の年となりますよう御祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

秋田県商工会女性部連合会 会長 伊藤まり子



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は私たち女性部にとりまして、7月の「東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会並びに第17回主張発表東北・北海道ブロック大会」、11月の「秋田県商工会青年部・女性部連合会創立50周年記念式典」と、大変大きな大会を開催した年でございましたが、皆様からの御協力により、いずれも盛会裏に終えることができました。県内外ともに、御参加いただいた方々からは温かい御言葉を頂戴し、更なる10年、20年先に向かい、また新しい第一歩を踏み出す決意を女性部員の皆様と強く誓い合いました。

今年度「商工会創生プラン」に基づき、「青年部・女性部中期活動ビジョン」の策定を進めております。このビジョン策定により、女性部の抱える課題を洗い出し、今後の活動の方向性を考え、行動していくための指針とし、女性部ならではの視点や感性を経営に活かし、地域活動と経営をつなげる新たな事業活動に取り組んでまいります。そのためにも、皆様からの今後一層の御協力を賜りたいと存じます。

私たち女性部は「おもてなしの心」で、各地域での女性部活動に邁進し、おもてなしカラーであるピンク色のように、今年も地域を明るく照らしてまいりたいと思います。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、健康で明るい一年でありますよう、心よりお祈り申し上げ、新春の御挨拶とさせていただきます。



今年は新たな取組にチャレンジ

合資会社 やまりん商店
(ゆざわ小町商工会)

「新メニュー開発で販路拡大～地元食材を活用した“ジオ弁”誕生～」

◎平成29年の事業内容と成果

ゆざわジオパークの魅力を弁当で表現できないかと商工会に相談し、「食べて学べる弁当」をコンセプトに商品化に向けた準備を進め、平成29年10月下旬から販売を開始することができました。

ジオパーク関係者のご協力のもと開催した試食会、大学生ツアー客を対象としたアンケート調査、フードコーディネーターによる専門家派遣支援など、たくさんの方々のご支援ご指導を経て商品が完成。「小規模事業者持続化補助金」を活用してデザインした掛け紙や手書きの解説付きメニュー表にも話題が集まり、多くの方々からご注文をいただきました。「ジオ弁は食からの観光案内」と観光客の皆様にも大変喜ばれております。

◎平成30年の更なる挑戦

ジオパーク弁当開発により、当社の経営理念である「食からの地域貢献」実現に向けスタートできました。売上増加とともに当社の知名度の向上を実感しております。引き続き、メニュー開発と研究、情報発信手段の検討を新たな課題として、経営の安定化と持続化を図りながら、後継者に事業承継したいと考えています。



好評販売中の“ゆざわめぐりジオ弁”

ヘアサロンたかはし
(羽後町商工会)

「高齢者に優しい店舗づくりを目指して」

◎平成29年の事業内容と成果

「福祉理容」という新たな概念を経営に取り入れ、従来の経営をさらに発展させる取組を実践しました。また、美容室も同時に営業することにより相互補完が実現しました。

◎平成30年の更なる挑戦

持続化補助金を活用した今回の取組によって、高齢者や障がい者の方への評判が広まりました。ケア理容師(介護資格2級に相当)在籍店舗という既存の強みと高齢者に優しい店舗という新しい強みを活かし、介護用利用設備を新たに導入し、店舗拡張に向けた準備を進めていきます。



高齢者に優しいサービスの提供

三種町商工会

「組織機能強化を図るための新たな事務局体制の構築」

◎平成29年の事業内容と成果

三種町商工会では、今般開催された理事会において、支援体制の強化を図ることを目的に、琴丘支所と八竜支所を平成31年3月で閉所し、本所に機能を一元化することについて、30年度の総代会に上程することが承認されました。

今後、本所に機能を一元化し新たな体制にすることで、個社支援の強化はもとより、老朽化により懸念されていた維持管理費の大幅な削減が期待できます。

◎平成30年の更なる挑戦

支所閉所により職員の能力を更に活かせる組織体制が整うことを見据え、課題解決を支援する解決提案巡回計画の策定、及び支所経費の削減による資金を活用した事業承継支援・販路拡大支援事業の計画を策定します。

また、支所の利活用について広く意見を伺い、方向性を決定します。



北秋田市商工会青年部

「部員間連携と3本柱の推進について」

◎平成29年の事業内容と成果

北秋田市商工会青年部では、今年度の新たな事業として他地域青年団体との交流事業を通じ、地域の枠を越えて部員同士が交流し、新たな情報交換でビジネスチャンスのきっかけを生み出す事業を開催しました。

◎平成30年の更なる挑戦

来年度の事業としては、「他地域青年団体との交流」、「資質向上」、「少子化対策」を3本柱として取り組んでまいります。

他地域青年団体との交流事業では、交流範囲を広め、ビジネスチャンスの拡大や人脈づくりを進め、資質向上事業については、事業承継をはじめ、事業範囲を市・県・海外へと広げるための経営革新を含めたセミナーを開催していく予定です。

少子化事業では、今年度まで実施していた、地域の若者男女のカップリングを目的とした事業から、首都圏女性の移住定住を目的とした内容へと拡大し、青年部員の事業所でのものづくり体験や北秋田市の観光スポットを巡る「いいもの発見」を含めたツアーを実施する予定です。

また、継続的に部員増加を達成している部員増強運動についても引き続き部員のネットワークを駆使した地道な勧誘に努めてまいります。



6月に開催した大館商工会議所青年部との交流会

よこて市商工会女性部

「賑わい創出と地域貢献の“ひなまつり弁当配付事業”」

◎平成29年の事業内容と成果

毎年3月3日の桃の節句に、よこて市7地区の地元食材を取り入れて手作りした「ひな祭り弁当」を一人暮らしの高齢者(約220世帯)に無料で手渡し配布をしております。地元食材・地域事業者活用や、地域高齢者の安否確認・コミュニケーションといった地域貢献活動の一役を担った事業です。

◎平成30年の更なる挑戦

本年度、よこて市商工会女性部では横手市の発酵食品文化に着目した研修会を開催しました。このことを活かし、おかずに発酵食品を取り入れてバリエーションを増やしていくことを考えております。また、年々高齢者世帯が増加しているため、配布世帯数を増やしていきたいと考えており、そのためには、予算の確保が必要ことから、女性部主体事業から社会福祉協議会、行政主体といった市を挙げての取り組みとなるように働きかけを行ってまいります。この“ひなまつり弁当配布事業”が地域貢献のみならず、横手市の賑わい創出に寄与できるよう、今年も女性部員一丸となって活動を行ってまいります。



一人暮らしの高齢者に「ひなまつり弁当」を手渡し配布

秋田県商工会連合会

「商工会創生プランに基づく情報発信強化戦略の実施」

◎平成29年の事業内容と成果

情報発信強化戦略の実施に当たり、事業者のみならず、行政や関係団体、一般住民に対し商工会の存在意義を高めるため、商工会組織の情報発信の強化を図る必要があり、昨年度は、21商工会に広報担当職員を設置し、情報収集・発信強化に取り組んでいます。

◎平成30年の更なる挑戦

今後更なる情報発信強化として、全県商工会の会報やWEBサイトを対象とした広報コンテストを開催し、専門家による情報発信の取組に評価いただき、広報担当職員の更なる情報収集・発信スキルの向上を図ります。

また、県連会報「商工Biz」では、事業者の経営に必要な情報についてテーマを定め、施策活用事例や経済環境の変化に合わせた情報、全県商工会で取り組んでいる事業、会員事業所の新たな取組を積極的に収集・発信し、情報発信強化を進めます。



平成29年度 広報担当職員研修会
講師 斎藤編集局整理部長(株)秋田魁新報社)